

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号  
三菱UFJリース株式会社  
取締役社長 柳井隆博  
(コード番号 8593 東証・名証第1部)

お問合せ先

コーポレートコミュニケーション部長 長谷川 太郎

TEL 03-6865-3002

### **三菱UFJリース エアバスがベンチャー企業支援を行う投資ファンドへ出資**

三菱UFJリース株式会社（以下「当社」）は、航空宇宙産業のリーディングカンパニーであるAirbus S.E.（本社：オランダ王国、CEO：Guillaume Faury、以下「エアバス」）傘下のAirbus Ventures（本社：米国カリフォルニア州、代表パートナー：Thomas d'Halluin）が支援するベンチャーキャピタルファンド「Airbus Ventures Fund III LP」（以下「当ファンド」）に対し、株式会社日本政策投資銀行および芙蓉総合リース株式会社とともに出資契約を締結しましたので、お知らせします。なお、当ファンドに対するエアバスグループ以外からの出資は、本件が初めてとなります。

当ファンドを運営するAirbus Venturesは、航空宇宙産業において革新的な技術を有するベンチャー企業に投資することを目的として、エアバスが設立したベンチャーキャピタルです。自動化、電動化、次世代コンピューター、先進的素材などの技術を対象に、先端技術に対する深い知見、シリコンバレーを中心とする多数のベンチャーファンドとの協働、エアバス社やグループが有するネットワークなどを活用した投資後の積極的なバリューアップを軸に、世界各地で投資活動を推進しています。

当社は、2020年4月にスタートした中期経営計画～Sustainable Growth 2030～において「アセットビジネスのプラットフォームカンパニー」として、グローバルアセット分野、社会資本分野、再生可能エネルギー分野を注力分野として社会的課題を解決していくことを目指しています。今回の出資によってグローバルアセット分野、社会資本分野を中心に、幅広いネットワークを用いて事業を支援することで、当社の事業においても新たな領域に裾野を拓げることにつながると捉えています。

航空宇宙産業においては、電動航空機や新素材・代替燃料の開発など、新たな事業機会の誕生が期待されています。当社は今回の出資を通じて、最先端の知見やノウハウの蓄積を進め、当社グループがこれまで積み上げてきた知見と融合させることで、新たなビジネスモデルの構築を目指してまいります。

以上